

2020 年度 仙台中医学（漢方）講座

10月11日・1月17日の講座内容変更のお知らせ

「子宮筋腫・子宮内膜症に応用する方剤」から「口内炎・歯周病に応用する方剤」、「しみ・敏感肌に応用する方剤」から「子宮筋腫・子宮内膜症に応用する方剤」に変更となりますのでご理解をお願い致します。

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は本講座をご愛顧いただき誠にありがとうございます。

このたび、2020年度の仙台中医学（漢方）講座の開催スケジュールが決まりました。本講座は中医学を総合的に基礎からもう一度学習することを主体とした講座で、どなたでも参加することができます。これから漢方を勉強される先生や処方のお組み合わせなど応用を勉強される先生、漢方に興味を持つ薬学生まで幅広く学習できる内容となっています。薬学生の皆様には参加費はいただいておりません。ぜひこの機会に漢方に触れていただければと存じます。

さて本年度は診療科別疾患における中医学的思考方について生薬や処方の解説を行い、疾患や症状に合わせた漢方を選択する構成で進めてまいります。中医学理論では、違う病気に対しても、症状、訴え、その性質が同じであれば、同じ方剤が使われることがあります。これを「異病同治（いびょうどうち）」といいます。病名が同じでも、症状、訴え、その性質が異なれば、違う方剤が使われます。これを「同病異治（どうびょういち）」といいます。本講座では、生薬の【効能・効果】の「温める・冷ます」「補う・取り除く」「潤す・乾かす」について中医学理論による身体の「しくみ」と「はたらき」を繰り返して学習します。一度説明した方剤が、別の月の別の疾患で重複して説明されます。

方剤を運用する上で、その構成生薬の特徴を理解することは、方剤の様々な顔、一つの方剤が様々な疾患に対処できるという臨床の応用と幅を広げることでしょう。また、生薬そのものを目で確かめていただき、味や香りなどを確認していただきます。そしてエキス剤や煎薬を試飲しながら、比較検討していくという他の講座にはない醍醐味をご用意しています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

なお、この研修には日本薬剤師研修センターより研修シール2点が交付されます。

敬具

記

1. 延期日時： 2021年1月17日 12時30分～15時30分
 2. 会 場： [ウェブ会議ツールによる講座](#)
 3. 参加費： 2,000円/1回（薬学生は無料）
 4. 講 師： 船水 泰宏 先生
東京都足立区竹ノ塚で凜漢方薬局を経営<http://rin-kanpou.com/>
 5. 関連ホームページ：
(財) 日本薬剤師研修センター <http://www.jpec.or.jp/>
(社) 宮城県薬剤師会 <http://www.mypha.or.jp/>
仙台中医学講座 <http://www.keyaki-p.com>（お申込みもできます）
 6. お申込み： けやき薬局吉成台店 事務局
仙台青葉区吉成台1丁目2-7
電話 022-277-6693 F A X 022-719-2388
office@keyaki-p.com
- 主 催： 仙台中医学講座
後 援： 社団法人宮城県薬剤師会
協 賛： 小太郎漢方製薬株式会社
共催研修会： 財団法人日本薬剤師研修センター
事務局： けやき薬局吉成台店